



新明小だより

東松山市立新明小学校
学校だより
5月号
令和8年5月1日



学校教育目標 まなぶ・つながる・やりぬく

～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

新緑がまばゆい季節となりました。正門で交わす「おはようございます」という元気な声に、子供たちの新しい生活への意欲を感じる毎日です。

朝の登校時には、6年生が1年生の手を引いて歩く姿が見られます。ある6年生の男子児童が「妹ができたみたいで嬉しい」と笑顔で教えてくれました。下級生を思いやる上級生の姿は、見ていて心が温まります。

学習面でも、「詩の暗唱はいつから？」と心待ちにする声が聞こえるなどの子も前向きにスタートを切っています。こうした子供たちの「やる気」や「優しさ」を大切に育む一年間にしていきたいと考えております。



【 白いチョウは本当に白いのか

足でごはんを味見するチョウ ～ 】 5月お話集会より

中庭の花壇には、多くの昆虫が見られワクワクしてきます。ところで、みなさん、チョウはどこで味を感じるか知っていますか？

実は——チョウは、口ではなく、足で味を感じています。花にとまるときに、「この花はおいしいかな？」と、足で確かめているのです。足には、味を感じる器官があり、確かめた後に、ストローのような口で蜜を吸うのです。

先生はこれを初めて知ったとき、「ええ！？足で！？」と、とてもびっくりしました。

さて、ここからが、もっとびっくりする話です。校庭でもよく見かけるモンシロチョウ。

白くてきれいなチョウですよ。

でも——このチョウ、実は仲間のチョウから見ると、白一色には見えていません。

チョウには、人間には見えない「紫外線」という光が見えています。

そのため、モンシロチョウの羽には、人間には見えない模様が浮かび上がって見えているのです。

つまり、同じチョウを見ていても、人間には「白いチョウ」と見えても、チョウから見ると「いろいろな模様のあるチョウ」と、見え方が全く違うのです。

私たち人間は、「私たちの見え方が、正しい見え方だ」と思いがちですが、本当は、生き物によって、見え方も感じ方も違うんですね。

だから——みなさんのまわりでも、
「自分とはちがう考え」や「ちがう感じ方」
をする友だちがいても、それはおかしいことでは
ありません。むしろ、いろいろな見え方や考え
方があるからこそ、世界は豊かで、おもしろい
のだと思います。皆さんも、様々な人やもの
つながり、自分を豊かにしていきましょう。

<校長室から> 1年生を迎える会より



4月22日には「1年生を迎える会」を行いました。運営委員を始め、6年生の児童が素敵な王冠を作り1年生にプレゼントしてくれました。王冠の裏には、1年生への温かな励ましの言葉や応援のメッセージが書かれていました。